

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 チームに聞いてみよう

認知症のこと。



2025.8 Vol.73

お知らせ

坂総合病院市民公開講座を開催します

テーマ 消化器がん

- 「がんと共に生きていくために」看護師 本間 裕樹
- 「消化器がんのはなし(仮題)」消化器科医師 鹿島 雄州
- がんについての個別相談(看護師3名が対応)

※13:00～14:00までの事前予約制

■日時:2025年9月20日(土) 14:00～16:00

■会場:多賀城市文化センター 展示室
(多賀城市中央2-27-1)

■定員:100名

■参加費:無料(要事前申込)

予約・問合せ **022-367-9027**(友の会事務局)

「健康まつり」の開催準備を進めています

「みやぎ東部健康福祉友の会」では、現在、6年ぶりに「健康まつり」を開催する予定で準備を進めています。開催について詳細が気になる方は、続報をお待ちください。

■日時:2025年10月5日(日)

■会場:坂総合クリニック1号館 など

※日程、会場ともに変更になる場合があります

連絡先

022-367-9027

(友の会事務局)



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター **022-361-8288**

- 平日 8:30～16:30(小児科のみ8:00～)
- 土曜 8:30～11:30(小児科のみ8:00～)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30～翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

- ◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
- ◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

今田先生こだわりの靴下に注目を。明るい色の靴下を履くようになったのは「どうしたら患者さんの元気を引き出せるか」と考えたことがきっかけ」だと教えてくれました。

●表紙撮影／坂総合病院



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。
第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO

坂総合病院 広報誌「さかそう」
2025年8月1日発行



坂総合病院
SAKA GENERAL HOSPITAL

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、
病気や病院のあれこれを発信。
今回は「認知症」について
紹介します。

特集

チームに
聞いてみよう

認知症 のこと。

—— この本を制作した
経緯を教えてください。 ——

今田 坂総合クリニックに認知
症疾患医療センターを開設した
2015年以降、診療や研究会、
セミナー活動などを通じて多く
の患者さんとその家族にお会い
してきました。その中で得たも
のを伝えたい思いから、2023
年より「しんぶん赤旗日曜版」
で認知症について連載をスタート。
その内容に多くの方からの好評
をいただき、この本を出版する
ことができました。

—— 今田先生はこれまで、
どのような思いで
認知症の患者さんと
接してきたのでしょうか。 ——

今田 長く認知症の患者さんと
関わり続けてきた中、東日本大
震災をきっかけに患者さんたち
は施設に入所したりお子さんの
元へ移り住んだりと散り散りに
なり、私の前から消えてしまっ
ました。その時感じたのは、診
察室だけでは認知症を診ている
ことにはならないということ。つ

まり、それぞれの生活に必要な
社会的制度を通じて支援するよ
うな、総合的に認知症に関わる
支援の仕組みを考えて実践しな
ければいけないと考えるように
なったんです。そして今、私は70
歳を過ぎ、自分に身近な問題と
して認知症と向き合う立場にな
りました。今では目の前にいる
患者さんがどんな能力を持つてい
て、どんなことに生きがいやや
りがいを感じているのかというこ
とまで、診察室の中で診せてい
ただいています。

—— 今田先生が中心と
なって書き上げたこの本には、
これまでどんな反響が
ありましたか？ ——

今田 医学部時代の同級生から
は「3人で内容を膨らませなが
ら書いたのが伝わる。そこがと
てもいい」といううれしい反応
がありました。介護保険につい
ては阿部さんがしっかり書いてく
れましたし、利用できる制度に
ついて吉田さんの的確にまとめ
てくれました。認知症のケアに
必要な情報提供のために、2人

がいてくれたおかげでとても丁
寧かつ立体的なものになったと
思います。

阿部 私には認知症の患者さん
の家族から、「この本を読んで、
自分の関わり方はこれで良かった
んだと思えた」という声をいた
だきました。患者さんを支える
方々の自信につながっていること
を知れてうれしかったです。

—— 阿部さんと吉田さんは、
それぞれ看護師、
社会福祉士の立場から
どんなことを大切に
執筆したのでしょうか？ ——

阿部 患者さんだけでなく、家
族の視点も大切にしました。問
診の時間は、家族からの相談の
場でもあります。その経験の中
から、家族が介護に前向きに関
わるようになった事例をピック
アップしました。

吉田 私は患者さんやその家族
からの相談を待つことが多いので、
医療制度や社会保障制度につい
てこちらから情報発信ができる
貴重な機会だと感じながら執筆
しました。掲載情報は今田先生



もの忘れ外来の診察を待つ患者さんに、アイコンタクトをとる今田先生。「待合室での過ごし方を見ることも診察の一部です」

塩釜市を中心に地域の
医療を支える坂総合病院。
適切な治療と高度な技術で
人々を支えています。
今回は、認知症のケアに
携わる3人が執筆した
書籍と、そこに込めた思い
について聞きました。

認知症が気になるあなたへ -診察室から見たその備え (新日本出版社／2024年11月25日発売)

坂総合クリニック宮城県認知症疾患医療センター長の
今田隆一先生、認定看護師の阿部育実さん、社会福祉
士の吉田真理さんによる共著。「しんぶん赤旗日曜版」に
連載していた「認知症の備えと治療・ケア」の内容をもと
に加筆し、認知症治療や支援制度などを解説。認知症治
療の実例やジェンダー、共生社会についても触れ、現代
における認知症の手引き書のような一冊になっている。



と相談しながらまとめ、あまり
知られていない制度の紹介まで
盛り込むことができたと思いま
す。また、切実な思いを抱えて
いる若年性認知症の患者さんに
焦点を当てることが大切にしま
した。これは私にも当てはまる
事例だな、この制度は私も利用
できるなど気付きのある内容に
なっていることを願います。



患者さんや家族の支援が必要な時は阿
部さんが、社会的支援が必要な時は吉
田さんが介入し、連携した手厚い診察
が行われる

※次号から特集ページを拡大
してお送りします

#18 自宅で行う簡単ストレッチ⑥

「みやぎ東部健康福祉友の会」が毎月オンラインで開催している「自宅で簡単健康ストレッチ」。そこで紹介されている簡単な運動を連載で紹介します。今回は背中中の筋肉を動かすストレッチです。

座りながらできる背中中の運動

- ① 椅子に座ってバンザイをする。両手で棒を持つイメージで、息を吐きながらゆっくり腕を下ろしていく。
- ② 両手を肩の高さまで下ろしたら、息を吸いながら①のバンザイの姿勢に戻る。①・②の動作を10回程度×2～3セット行う

「運動療法センターのびのび」とは…?

坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。

※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています

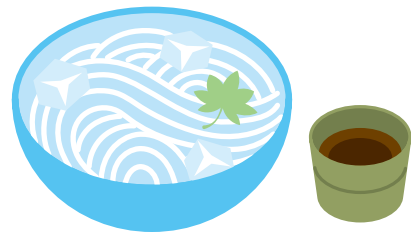


栄養手帖 ■ -食養室だより-

夏の食事はここに注意！

暑い夏、冷たい麺類ばかり食べていませんか？ 麺類だけの食事は栄養バランスを乱し、夏バテや血糖コントロールの悪化を招きます。

実は…



そうめん一束(100g)

=どんぶり飯(250g)と同じ

約400kCal

／ 栄養と満足感を満たすふたつのアイデア ／

量が足りない時にはこんにゃく麺や糖質ゼロ麺をプラス！

そうめんは一束ゆでると約3倍の量に。それでもお腹が満たされない時は100gあたり20kCalのこんにゃく麺や100gあたり30kCalの糖質ゼロ麺を加えましょう。カロリーを抑えながらも食べ応えのある食事になります。

たっぷりの野菜と一緒に食べよう！

野菜やタンパク質と一緒に食べることで満足感アップ！豚やウナギなどに含まれるビタミンB1と、ニンニクや長ネギ、ニラなどに含まれるアリシンと一緒に食べるとビタミンB1の吸収が良くなり、夏バテ防止にも効果的です。

支えるひとたち



第46回
介護保険室

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

かつて看護師として働いていた私。当時、看護部長から「資格があるならやつてみない？」と声をかけられたことを機に、ケアマネジャーの道に進みました。居宅サービス計画書作成から退院調整、介護サービスの調整、利用者の自宅訪問などの仕事がある中、ケアマネジャーは作成する書類がたくさん。さらに3年もしくは5年に一度改正される介護保険法の内容を頭に入れるのも大変です。それでも「あなたを担当でよかった」と言っていただけたり、担当した方のご家族から「また担当してほしい」と依頼を受けたりした時にはうれしい気持ちになります。塩釜・多賀城・七ヶ浜・利府にお住まいの方を担当していますが、今後も各自自治体や事業所と連携し、利用者やご家族が自宅で生活・介護ができるよう、適切な支援や情報提供を行っていきます。



介護報酬の情報が網羅された本は仕事に不可欠。介護保険法の改定時には、その内容を指差しでしっかりと確認しながら使用しています。



鈴木 由香里 (すずき ゆかり)
ケアマネジャー

佐藤 悠耕（さとう ゆうこう）
係長

「みやぎ東部健康福祉友の会」の事務局を担い、地域の健康づくり活動を推進している私たち。地域の方々の関心に基づいて講演を企画したり、地域の会合に出向いてお話をしたりなど、地域と病院の架け橋となるべく仕事をしています。当課の健康運動指導士がオンラインで行うストレッチや生活困窮者への食糧支援



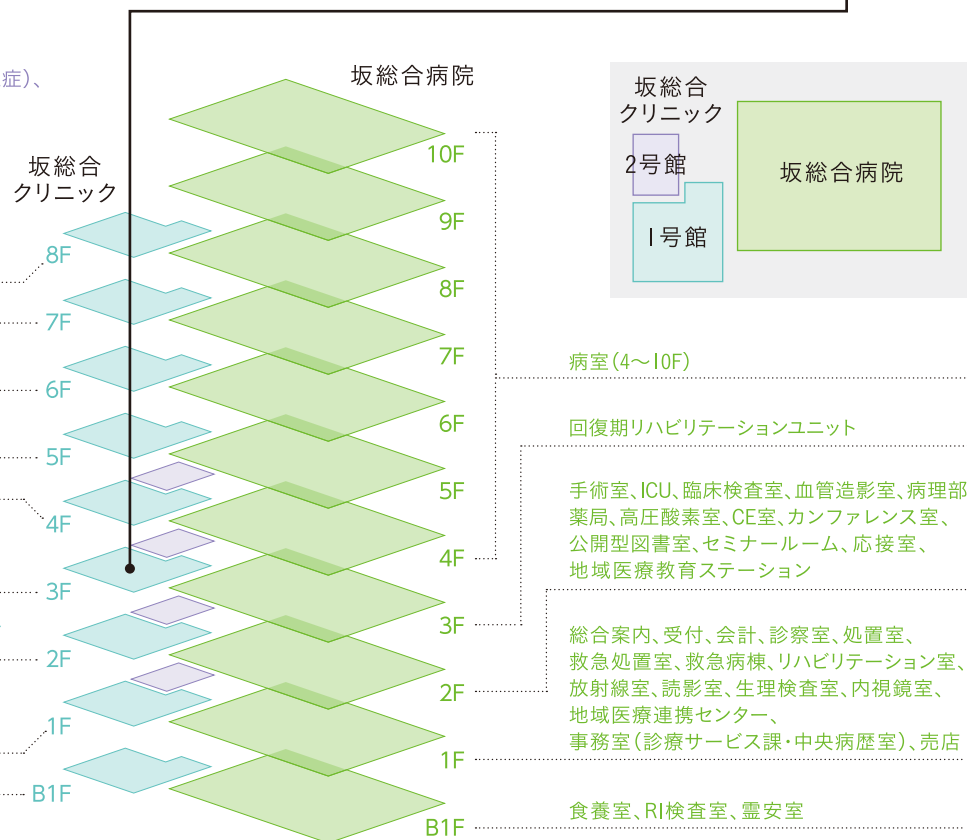
活動なども活動のひとつです。実は「友の会」という組織は坂総合病院独自のもの。入会している地域の方々は「お世話になったから」「無差別平等の理念に共感したから」という理由で活動に協力してくださり、現在の会員数はおよそ7000名にもなりました。私たちは「友の会」の方々と一緒にこれまで築き上げてきた当院の信頼を守り、より地域から信頼いただける取組みを進めること、そして地域で困っている方々にいかに寄り添っていきけるかについても院内各職場と連携して取り組んでいます。今年10月5日（日）に6年ぶりとなる「健康まつり」を開催予定です。院長の講演や健康チェックコーナー、飲食物の模擬店など、病院と地域の方々との交流を生む様々な企画を準備しています。詳細は今後検討していきますので、ぜひお楽しみに。

2号館

4F 外来（小児科）、事務室、心理室
3F 外来（循環器科、糖尿病、漢方、高脂血症）、食事相談室
2F 外来（内科、呼吸器科、心血管外科）
1F 受付・会計、処置室、検査室、放射線室

1号館

図書室、会議室、資料室
ダイケア室、介護保険室
運動療法センター、クリニック所長室、クリニック看護部長室、クリニック事務長室
事務局長室、看護部長室、事務部長室、総務課、クリニック診療サービス課
医局、院長室、副院長室
患者さま図書室、友の会室、地域健康課、健康管理室（健診科）、患者教室、宮城県厚生協会本部事務局、総務
外来（耳鼻科、形成外科、産婦人科、血液科、眼科）、化学療法センター
外来（外科、泌尿器科、皮膚科、腎臓内科、脳神経外科、リハビリテーション科）、
中央検査室、物流センター、施設サービス課



連携医のご紹介

医療法人社団桜蘭会 M&T総合クリニック福室

泌尿器科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科
総合診療科、内科、訪問診療・看護



院長
太田 章三 先生
（おた しょうぞう）



泌尿器科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科
総合診療科、内科、訪問診療・看護
医療法人社団桜蘭会
M&T総合クリニック福室

〒983-0014
宮城県仙台市宮城野区高砂2-7-7
Tel 022-762-7837
<https://ouran.jp/clinic-about/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:45 - 12:30	●	○	●	○	○		
13:30 - 17:30	訪	訪	訪	訪	訪		

※内科、泌尿器科は月～金曜午前診療
※月曜午前の神経内科、水曜午前の呼吸器内科の診察は要予約
※訪…訪問診療



在宅医療でも、手厚い専門的治療を

当院は令和3年11月に東北医科薬科大学病院の近くで開業したクリニックです。外来と在宅を二本柱にしています。午前中のみの外来では、主に泌尿器科、内科、神経内科を診察。在宅では宮城野区、多賀城市、塩竈市、七ヶ浜町、利府町の方を主な対象に、機能強化型在宅支援診療所や在宅緩和ケア充実診療所として、在宅医療が必要な方を24時間体制で支援しています。当院の特徴は、在宅医療で専門的治療も行えることです。がん末期の患者さんに対する医療用麻薬の経口や持続注射等によ

る疼痛管理、膀胱留置カテーテル、膀胱瘻、腎瘻などの尿路管理、末期腎不全患者さんへの腹膜灌流や保存的腎臓療法等の管理、神経難病に対する治療などに専門医が対応しています。在宅医療では「とさどき入院、ほぼ在宅」のイメージで対応していますが、どうしても入院治療が必要な時もあり、病診連携が大事だと考えています。坂総合病院とはこれまで患者さんを紹介いただいたり、無理な入院をお願いしたりとお世話になってきました。今後ともよろしくお願

坂総合病院から

M&T総合クリニック福室は、同じ診療圏の在宅医療を支える存在です。当院からは在宅医療が必要な患者さんを紹介し、入院加療が必要な在宅療養中の患者さんを紹介していただいています。地域包括ケアの充実のために今後も連携を深め、地域を支えていきたいです。引き続きよろしくお願いいたします。